

25110fficeComputer.pdf

2025.11 ブログ：

『オフィスコンピュータの今昔？』、の詳細

(→ <http://www.1968start.com/M/blog/index4.html#2511>)

「オフィスコンピュータの今昔？」

中所武司

■このエッセイのきっかけ

下記の日経の「オフィスコンピュータ」の記事から、関連する過去を回想。

- ・日経の記事（2025.11.5 電子版）

『富士通オフコンに迫る脱出期限 第1弾は残り5カ月、約700社の移行が本格化』

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/03391/103000001/>

本件と関連して、下記のページも取り上げる。

- ・WIKI「オフィスコンピュータ」

<https://ja.wikipedia.org/wiki/オフィスコンピュータ>

- ・WIKI「IBM System/36」

https://en.wikipedia.org/wiki/IBM_System/36

<https://ja.wikipedia.org/wiki/System/36>

- ・過去ブログ（2011.10）「さほどでもないMacとのかかわりの歴史」

<https://www.1968start.com/M/blog/1110Mac.html>

■WIKI「オフィスコンピュータ」からの抜粋とコメント（→★）

- ・オフィスコンピュータは、**中小企業**等での事務処理を行う比較的小型の**コンピュータ**。
日本のみで使われる呼称で、海外では**ミニコンピュータ**、**ワークステーション**、**ミッドレンジコンピュータ**などと呼ばれる。メーカーによる独自設計が特徴である。

- ・日本では、**1970年代後半から1990年代にかけて**、中小企業の**財務会計**や**給与計算**、**販売管理**といった、全社的な業務処理システムや、大手企業の支社や支店、部門ごとの処理システムの構築用に多く導入され、全国の中小企業や工場の情報化に貢献した。

→★1980年代に、私の勤務していた研究所で、オフコンをよく見聞きしていて懐かしい。
確か、専任のIT技術者がいなくても導入できたと思う。

1983年5月の米国の学会の展示会でIBM System/36の発表を見たことを思い出した。

■日経の記事（2025.11.5 電子版）からの抜粋とコメント（→★）

- ・富士通のオフコン事業からの撤退で、ユーザーはオフコンからの脱出を迫られている。
現在の利用企業は約 700 社で、2031 年 3 月末までにオープン化などの必要がある。
- ・2018 年 3 月末以降は新規にはハードウェアが提供されなくなったため、
富士通オフコンユーザーの多くは Cloud Service for オフコンへ移行した。
ただ、オンプレミス環境で富士通オフコンを使い続けているユーザーが一定数いる。

→★多くの中小企業は専任の I T 技術者がおらず、計画的な移行が難しかったと思われる。

- ・ハードウェアの販売のピークは 1987 年で、その年に 5 万台を販売したとのこと。
1984 年の発表から 40 年あまり、販売管理や生産管理アプリの COBOL での開発や、
人事・給与・会計などのパッケージの利用で、中小企業の基幹業務を支えてきた。

■過去ブログ（2011.10）からの抜粋とコメント（→★）

- ・このブログ「さほどでもない M a c とのかかわりの歴史」は、
下記のブログの詳細説明だった。
*（2011.10）「番外編：米アップルの創業者、スティーブ・ジョブズ会長が逝去」
<https://www.1968start.com/M/blog/old.html#1110b>
- ・このブログの【1983 Lisa のデモ見学】の項には、
『5/16-5/19 にアナハイムコンベンションセンターで開催された
National Computer Conference (NCC83) に [論文発表](#) のために参加したとき、
併設された展示会で、4 か月前に発売された [Lisa](#) のデモを見学』との記載あり。
- ・実はこの展示会での I B M のブースでは、「System/36」の発表があった。
展示会の初日が、この新機種発表の日だった。

■WIKI「IBM System/36」からの抜粋とコメント（→★）

- ・The IBM System/36 was a popular small business computer system,
first announced on 16 May 1983 and shipped later that year』
- ・日本語の WIKI「System/36」のページでの抜粋：
『System/36 (S/36、システム/36) は、IBM が 1983 年にリリースした
ミッドレンジコンピュータである』

『米国ではミニコンピュータ、日本ではオフィスコンピュータに分類される事が多い。

IBM の資料では当時は「小型 (Small)」、現在は PC サーバ等も普及したため

「中型 (Midrange)」と呼んでいる』

『中小規模の法人や部門の事務処理用であり、ホストコンピュータ（メインフレーム）と通信した分散処理用でもあった。世界的にも多数販売された』

→★当時、垂直分散と水平分散というキーワードが使われていた。

メインフレームと通信するのは、垂直分散。

→★企業のアプリケーションのクラウド化、WEBサービス化が始まって久しい。

20 年以上前に執筆した、下記の拙著でも言及している。

(参考)

「ソフトウェア工学 (第 2 版)」朝倉書店、2004 年 3 月

<https://www.1968start.com/M/lecture/SEindex.html>

* 「1.3.2 ソフトウェアのサービス化」の項からの抜粋：

『最近ではパッケージソフトウェア利用が増えつつある。この傾向がさらに進めば、ソフトウェアを入手するのではなく、ソフトウェアが提供するサービスを入手するという方向へシフトしていく。既にパッケージソフトウェアをネットワーク経由でレンタルして利用する ASP (application service provider) の市場がある』

* 第 3 版 (2014 年 3 月) での関連部分の追記：

『このアプリケーションの利用形態は SaaS (Software as a Service) と呼ばれる』
『さらにはインターネット上で提供するサービスを利用する形態を幅広くとらえたクラウドコンピューティングが注目されている』

以上